

TOTO

東陶機器株式会社

Designed by Masayuki Kurokawa
KSERIES

2バルブシャワーバス金具

TOTO

ご愛用のしおり

- このたびは、**KSERIES** 2バルブシャワーバス金具をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
- このしおりをよくお読みのうえ、正しくお使いください。

商品のお問合せはTOTOお客様相談室へ
0120-03-1010
受付時間9:00~17:30(土・日・祝日を除く)



もくじ

安全上の注意	1~2
特長・各部の名称	3~4
ご使用方法	5
使用上のご注意	6
お手入れのしかた	7
故障したときは	8

安全のために必ずお守りください

ご使用前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

- この説明書では、機器を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろなる表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。

⚠ 注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性がありますを示しています。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。

⚠ 注意

- (1)シャワーをお使いになる前に、必ず手で適温かどうかを確かめてください。
高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。(シャワー付)
- (2)お使いになる前に、カラン側かシャワー側かを切替ハンドルで確認してから湯をお使いください。
カラン吐水とシャワー吐水を間違えると、やけどをするおそれがあります。(シャワー付)
- (3)水栓の左側は給湯側のため高温になっています。水栓の表面に直接肌を触れないようにしてください。
やけどをするおそれがあります。
- (4)熱湯をお使いのときには、カランは高温になっています。
直接肌を触れないでください。
やけどをするおそれがあります。(カラン付)
- (5)高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないようしばらく水を流してください。
次に使用すると、水栓内に滞留した高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。

(6)湯を止めるときは、必ず湯側のハンドルから閉めてください。

次に使用すると、水栓内に滞留した高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。

(7)湯をお使いになるときは、必ず水側ハンドルから開けてください。その後徐々に湯側ハンドルを開け、お好みの温度に調節してください。
湯側を先に開けると高温の湯が吐水し、やけどをするおそれがあります。

(8)他所の水栓の使用等により水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。
やけどのおそれがありますので、シャワー使用時の2カ所同時使用はなるべく避けてください。(シャワー付)

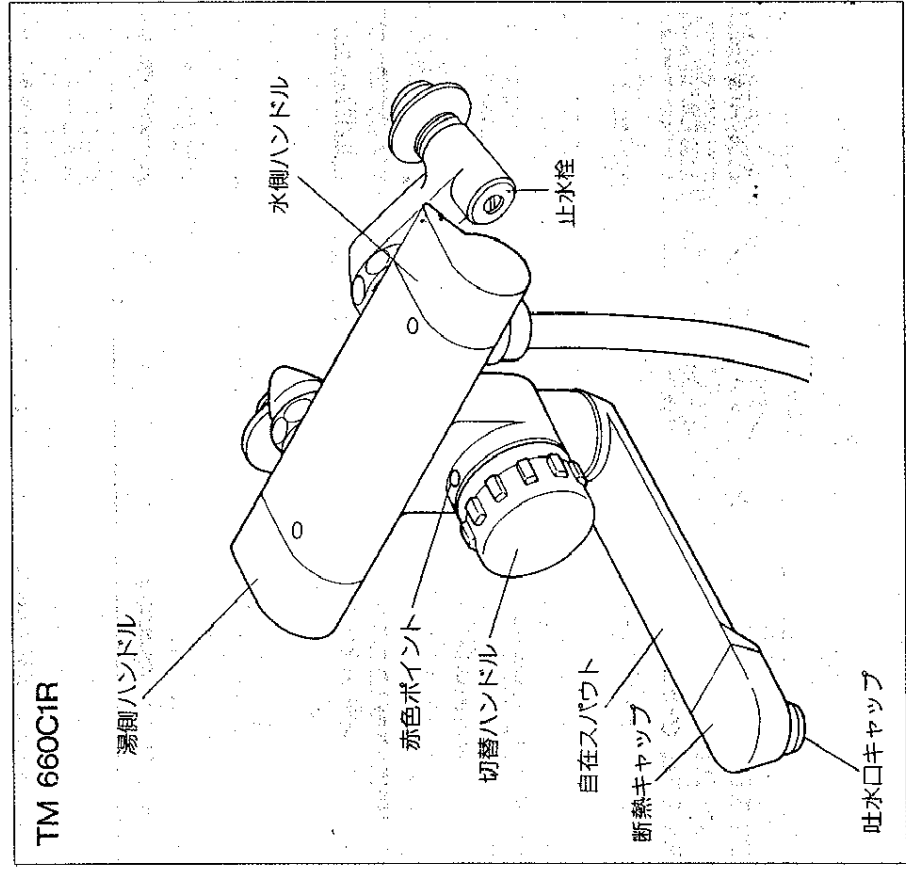
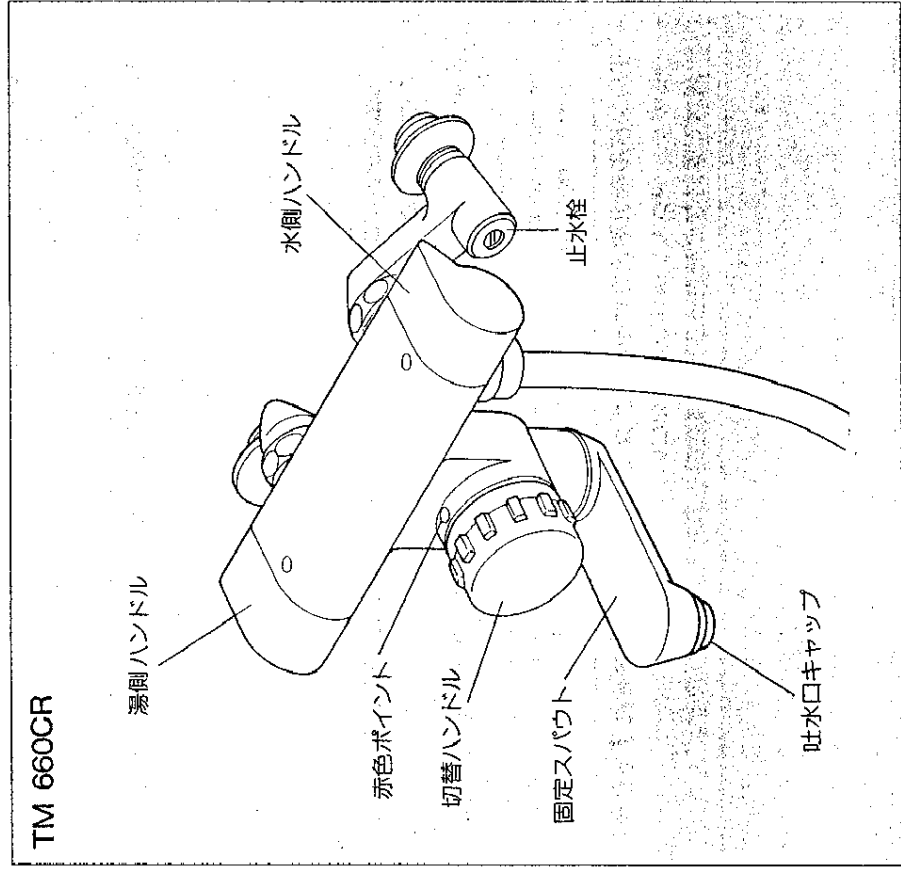
(9)シャワー使用後は、切替ハンドルを必ずカラン側に切替えてください。
切替ハンドルがシャワー側になっているのを気付かず湯を出すと、やけどをするおそれがあります。(切替弁付)

(10)凍結が予想される際は、配管の水抜操作と水栓の水抜操作を同時に行ってください。
凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。(寒冷地用)

(11)ハンドルを急閉止させると、配管から漏水を起こすおそれがありますので、ゆっくり操作してください。
漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

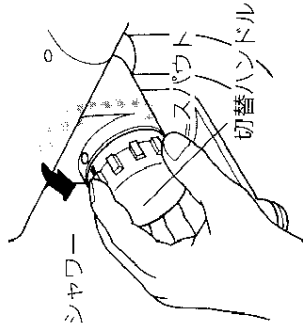
特長・各部の名称

- 切替ハンドルで操作も簡単!!
シャワー側・スパウト側の切替えと、適温の状態で一時的に止水できる切替ハンドルが付いています。したがって一度温度調節をしておけば、あとは切替ハンドルを操作するだけで同じ温度のお湯を出すことができます。適温に調節したままで、一時的に止水できますので、温度調節のための無駄な水を流すことはありません。



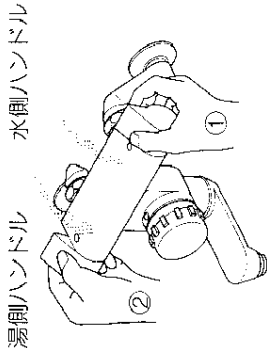
ご使用方法

切替ハンドル



切替ハンドルを右に回すとスパウトから吐水し、左へ回すとシャワーから吐水します。

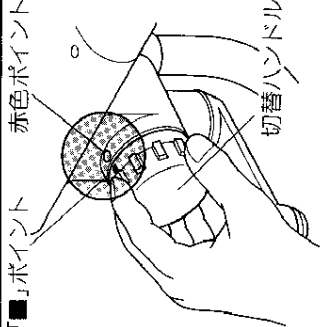
温度調節



まず水側ハンドルを回し、その後湯側ハンドルを回して温度及び吐水量を調節してください。(*湯側から回すといきなり熱湯が出て危険です。)

*吐水量及び吐水温度の調整は必ず湯側、水側ハンドルにて行い、切替ハンドルにて調整しないでください。
吐水量の調整を切替ハンドルで行った場合、吐水温度が変化しますので注意ください。

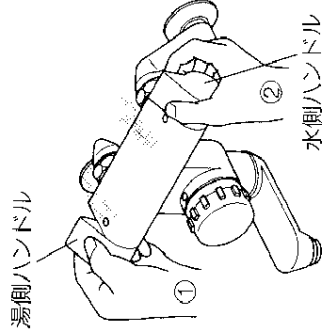
一時止水



お湯を一時止めたいときは切替ハンドルの「■」を赤色ポイントに合わせてください。(*使用中の一時止水のときだけ使用してください。)

ご使用後は、必ず切替ハンドルをスパウト側に回し、湯側、水側のハンドルを閉じてください。

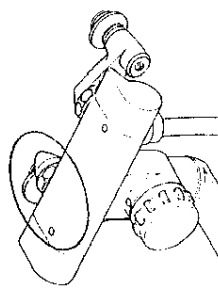
*湯側ハンドルを必ず先に閉じてください。水側ハンドルを先に閉じると熱湯だけがでて危険です。また、切替ハンドルをシャワー側に合わせると、次に使用するときいきなりシャワーから水がかぶる恐れがあります。



使用上のご注意

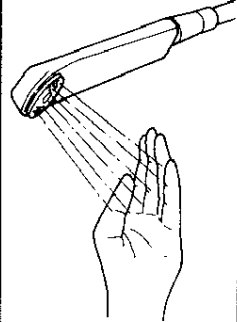
熱湯を使用しますので、やけどなどの事故がないよう、必ず次の注意事項を守ってください。

器具の左側は熱湯で高温になるため金具の表面に直接ふれないでください。また高温で吐水させた後はしばらく水を出し、残湯を流しておいてください。



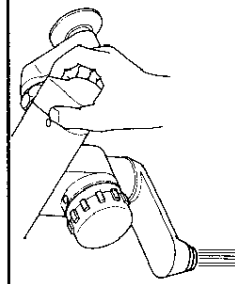
やけどに注意

シャワーを使用するときは、いったん手で湯温を確かめてください。



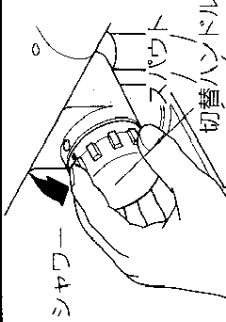
湯温を確かめる

しばらく吐水させて
使用する



一時止水後再使用するときは、給湯配管内にたまっている高温の湯が出る場合があります。しばらく吐水させて湯温が安定してからご使用ください。

切替ハンドル
はゆっくり回す



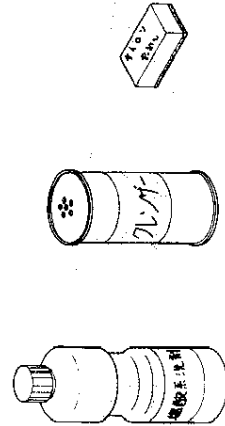
切替ハンドルの操作はゆっくり行ってください。急に回すと、水撃による音が出る場合があります。

給湯機がガス瞬間湯沸器の場合

- 湯側ハンドルは全開でご使用ください。
- 湯沸器の温度調節つまみを“高”の位置にして、能力切替つまみは季節に応じた位置にセットしてください。
- 適切なシャワー量で適温が得られないときは、湯沸器の能力切替つまみで調節してください。

お手入れのしかた

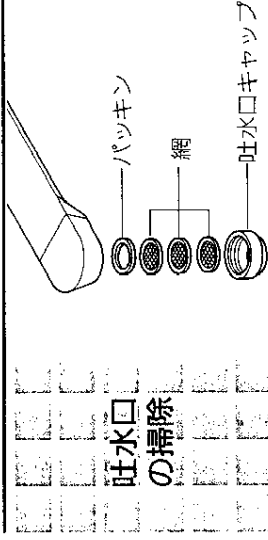
いつまでも美しさを保つためにふだんは柔らかな布でふき、めっきされたところはときどきミシン油やカーワックスなどをしみこませた布でふいてください。ただし樹脂部(シャワーなど)に付着すると光沢を失いますので、付着しないよう十分注意してください。



クレンザー・みがき粉などや粗い粒子を含む洗剤およびナイロンたわなどはめっき面を傷つけますので使用しないでください。また酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないでください。まちがって使用したときはすぐに水洗いしてください。

カラー塗薬品及びプロンスめっき品の場合は特別なお手入れ方法となりますので同梱の取扱説明書をご覧ください。

吐水口キャップがつまると吐水量が少なくなったり、温度調節がうまくできなくなるなど十分な機能が発揮されなくなります。ときどき吐水口を掃除してください。



吐水口キャップをはずしてください。
網目につまったごみをブラシなどで取除いてください。

故障したときは

故障したときの修理はお取付工事店にご依頼ください。なおご不明な点がございましたらお客様相談室にお問合わせください。

本体内部は分解しないでください

本体内部は精密加工された特殊セラミックバルブを組立調整しており、すので、絶対に分解しないでください。